

各位

コモンズ投信株式会社
代表取締役社長 伊井哲朗
東京都千代田区平河町 2-4-5

コモンズ30ファンド
「R&Iファンド大賞2015」【NISA/国内株式部門】優秀ファンド賞を受賞

この度、コモンズ投信株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:伊井哲朗、以下「コモンズ投信」)の運用、販売する「コモンズ30ファンド」が、「R&Iファンド大賞2015」【NISA/国内株式部門】におきまして下記の通り、優秀ファンド賞を受賞しましたことをご報告させていただきます。

今回の受賞は、直近3年間の実績に基づいたものでありますが、この間のお客さまからの安定的な資金流入、投資先企業の企業価値向上の取り組みが運用成績の向上につながったものと考えています。弊社もこれを励みに、運用力の更なる向上を目指して、日々の活動に取り組んで参ります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

記



表彰部門: NISA / 国内株式部門 優秀賞
受賞ファンド: 「コモンズ30ファンド」

運用資産総額(2015年4月21日現在)

ファンド名	純資産総額
コモンズ30ファンド(公募) (マザー)	66.5 億円 (118.1 億円)

基準価額の騰落率(2015年3月31日現在)

騰落率	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
コモンズ30ファンド	3.21%	11.72%	20.79%	33.08%	91.44%	152.93%

※上記騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものと仮定して計算した値です。

◆R&I ファンド大賞とは

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。「投資信託／総合部門」の各カテゴリーは、受賞運用会社の該当ファンドの平均的な運用実績を評価したもので、受賞運用会社の全ての個別ファンドについて運用実績が優れていることを示すものではありません。

◆R&I ファンド大賞 2015 の概要について

「投資信託」および「投資信託／総合部門」は確定拠出年金専用ファンドを除く国内籍公募追加型株式投信、「確定拠出年金」は確定拠出年金向けに利用される国内籍公募追加型株式投信、「NISA」はNISA(少額投資非課税制度)向けに利用される国内籍公募追加型株式投信、「確定給付年金」は『R&Iユニバースデータサービス』に登録されているファンド、を対象にしており、いずれも基本的にR&Iによる分類をベースとしている。選考は、「投資信託」、「確定拠出年金」、「NISA」、「確定給付年金」では2013、2014、2015年それぞれの3月末時点における1年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファンドに関して、2015年3月末における3年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰している。定量評価は、「投資信託」、「確定拠出年金」、「NISA」では「シャープ・レシオ」を採用、表彰対象は設定から3年以上かつ償還予定日まで1年以上の期間を有し、「投資信託」及び「NISA」では残高が30億円以上かつカテゴリー内で上位50%以上、「確定拠出年金」では残高が10億円以上かつカテゴリー内で上位75%以上、「NISA」では2015年3月末における過去3年間の月次収益率の標準偏差(年率)が30%以下の条件を満たすファンドとしている。「確定給付年金」では定量評価に「インフォメーション・レシオ」を採用している。なお、「投資信託」、「確定拠出年金」、「NISA」では上位1ファンドを「最優秀ファンド賞」、次位2ファンド程度を「優秀ファンド賞」として表彰している。「確定給付年金」では受賞区分を設けていない。「投資信託／総合部門」では、2015年3月末において残高30億円以上のファンドを3本以上設定する運用会社を表彰対象とし、各ファンドの3年間における「シャープ・レシオ」の残高加重平均値によるランキングに基づき、上位1社を「最優秀賞」、次位1社を「優秀賞」として表彰している。詳細はR&Iのウェブサイト

(http://www.r-i.co.jp/jpn/ie/itr/fund_award/)をご覧ください。



本件に関する問い合わせ先: マーケティング部 福本(03-3221-9230, miho.fukumoto@commons30.jp)

コモンズ 30 ファンドの費用について

購入時手数料	販売会社が、別途定める購入申込手数料を申し受ける場合があります。
換金時手数料	ありません。
運用管理費（信託報酬）	ファンドの純資産総額に年 1.242%（消費税込）を上限とした率を乗じて得た額とします。なお、基準価額は、信託報酬控除後のものです。信託報酬は、純資産総額の一定の増加により低減する仕組みになっています。
信託財産留保額	ありません。
その他の費用・手数料	当ファンドに組み入れる有価証券等を売買する際の売買委託手数料およびこれにかかる消費税等相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。また、目論見書・運用報告書等作成費用、監査費用、信託事務に要する諸費用等として純資産総額の 0.108%（消費税込）を上限として投資信託財産より控除されます。

※上記の手数料（費用）等の合計額については、保有期間に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

コモンズ 30 ファンドのリスクについて

当ファンドは、国内外の株式など値動きのある証券等に投資するため、その基準価額は変動します。したがって、お客さま（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。委託会社の運用により生じるこうした基準価額の変動による損益は、すべてお客さま（受益者）に帰属します。

投資信託は預貯金と異なります。

※リスク要因は、上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

ご留意事項

記載された内容は作成日時点のものであり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また将来予告なく変更される場合があります。

以 上